

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町・利根運河ツーリズム推進事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民及び来訪者 地域：流山本町・利根運河	意図	流山本町及び利根運河地域における観光振興・活性化を図る。
事業内容	両地域に現存する歴史的建造物を活用し、ギャラリーや飲食店、民芸品等の販売・展示を行う観光交流拠点をオープンさせ、イベントの開催など来訪者の誘客に努め、地域の活性化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	両地域の活性化と歴史的建造物の保存・継承を図る目的で「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」を平成23年6月に制定した。平成23年度2店舗、平成24年度1店舗、平成25年度1店舗、平成26年度2店舗、平成27年度1店舗、平成28年度1店舗、平成29年度1店舗、当該補助金を活用し、両地域における活性化及び観光集客に大きく寄与している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助金の活用件数	1	1	0	件	↑↑↑
②	主要施設等入館者数	99,070	101,592	98,702	人	↑↑↑	実績
③	主要イベント入込客数	175,605	188,545	252,833	人	↑↑↑	実績
④	マスメディア（TV・ラジオ）露出数	11	7	29	件	↑↑↑	実績
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

観光交流人口の増加に伴い、地元住民や商店主の活性化に対する意識が向上し、地域住民の自主的活動（イベント、商品開発等）など新たな取組みが生まれている。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

・補助金を活用した古民家プロジェクトは、マスメディア等に取り上げられるなど認知度の向上が図られ、地域商店や施設入込客数の増加に繋がっている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,370,080	13,821,162	12,176,038
事業費(b)(円)	5,419,130	7,023,212	5,495,288
うち一般財源	5,419,130	7,023,212	5,495,288
職員給与費(c)(円)	6,950,950	6,797,950	6,680,750
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.05	0.05	0.05
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	補助金を活用した事業を1店舗オープンさせる。	③取組における課題(Check)	【流山本町】夜の誘客をどう図るか 【利根運河】更なる店舗展開
②H30に実施した取組(Do)	既存補助金活用店舗のプロモーション（マスメディアへの宣伝等）を実施	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	【流山本町】夜をテーマとしたプロモーションを展開し認知度アップを図る 【利根運河】ストック物件の確保